

2025年度 東洋美術学校
項目別・自己評価表

2026年 3月31日



学校法人 東洋美術学校
専門学校
TOYO INSTITUTE OF ART & DESIGN

目 次

1. 学校の教育目標
2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画
3. 評価項目の達成及び取組状況
 - (1). 教育理念・目標
 - (2). 学校運営
 - (3). 教育活動
 - (4). 学修成果
 - (5). 学生支援
 - (6). 教育環境
 - (7). 教職員の配備について
 - (8). 学生の受入れ募集
 - (9). 財務
 - (10). 法令等の遵守
 - (11). 社会貢献・地域貢献
 - (12). 国際交流
4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果
 - (1). 教育評価
 - (2). 財務評価
 - (3). 一般的評価
5. 学校関係者評価委員の評価結果について

1. 学校の教育目標

東洋美術学校は、視野の広いアーティスト・デザイナーを育成することを目的とし、心・技・感性のバランスのとれた人材を育成すると同時に、アナログとデジタル双方をバランスよくとらえることの出来る、情報化社会において、クリエイティブの在り方について考え、社会に求められる職業教育を行う。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

インターンシップとカリキュラムの関係が、より効果的になるプログラムへ変革させることを重点的な目標とし、学外の意見を取り入れた計画を、単年度だけでなく、中長期にわたる計画の策定。

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④ 3 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

① 課題

変化の激しい業界において、企業と連携した実践的プログラムを、カリキュラムにどの様に採用するかが課題。

② 今後の改善方策

流行の取り入れをしても、基本的な建学の精神にのっとった教育に影響のないような改善方策とする。更に、教職員及び学生のスキルアップの為に、国家資格・民間資格の取得を推進する。

③ 特記事項

定期的に学内外の意見の交換を行い、建学の精神に鑑み、教育理念の達成を目的とし、常に学生の為になる教育に努める。

(2). 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか	④ 3 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 ③ 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 ③ 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

① 課題

〔 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制をもって強化すること。 〕

② 今後の改善方策

〔 教育活動等に関する情報公開をWEB上にて、公開することを改善方策とする。 〕

③ 特記事項

〔 美術学校という特殊性を考えるだけでなく、美術学校の特徴を生かした中で社会にも更に一層貢献出来る運営を行う。 〕

(3). 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 ③ 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1

① 課題
 [留学生のための教職員の語学不足が課題。又、非常勤講師の管理体制を課題とする。]

② 今後の改善方策
 [教職員の語学研修を改善方策とする。又、産業界からの講師を増やすことを改善方策とする。]

③ 特記事項
 [産業界との連携を多くし、学芸員の資格取得を目指させ、指導の徹底を図る。]

(4). 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④ 3 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④ 3 2 1

① 課題
 [就職の意義をとらえること、職に就くことの大切さを指導すること。]

② 今後の改善方策
 [学生の卒業後の進路を、学生個々の適正を判断しながら、より正しく指導する面談回数を増やす。]

③ 特記事項
 [キャリアカウンセラーによる、進路相談を実施している。また次年度において、教職員のメンタルヘルスの資格取得を推進する。]

(5). 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
・保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

〔 高等学校・高等専修学校との連携を強化することを課題とする。 〕

② 今後の改善方策

〔 社会の変化に伴いながら、キャリア教育・職業教育のなかでの美術・デザイン教育の取組と、美術・デザイン教育への理解を増やすことを改善方策とする。加えて学生個々への相談体制に対して、教員の増加を行った。 〕

③ 特記事項

〔 卒業生の作品展示会などに支援を行うため、本校ギャラリーを特別価格で貸し出ししている。また、民間ギャラリーの定期的利用により、学校主催の在校生の作品展及び卒業生の作品展を、積極的に行う。 〕

(6). 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

① 課題

（ インターンシップを増やすと同時に、学内カリキュラムとインターンシップの関連性の研究を課題とする。 ）

② 今後の改善方策

（ 学内カリキュラムは、独自の計画により作成されているので、インターンシップの取り入れ方を改善する。 ）

③ 特記事項

（ 海外研修は、学生の個人負担が大きく、現在、学校としては推進していない。
防災に対しては、定期的に施設点検を実施している。また、感染予防のため、
手指消毒の設備を全棟に配置している。 ）

(7). 教職員の配備について

（ 教職員については、専任の教員29名・職員14名、兼任の教員224名を配備し、十分な教育体制で対応した。専任教員については、専門学校・大学・大学院卒業の教員をバランスよく配置し、より学科の専門性を高められるように努めた。
兼任教員については、学芸員有資格者、心理カウンセラー、現役デザイナー、修復家等、設置学科に対応した人員を幅広く登用し、各学科の充実を図った。 ）

(8). 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4 ③ 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

〔 学生募集は順調に推移しているが、18才人口減少による成年層のリカレント教育の募集の活動を課題としている。また、留学生の割合を増やすことが、教員にどのような影響があるかを検討する。 〕

② 今後の改善方策

〔 社会状況との必要性により、時代に対応した新たな夜間部学科の設置を改善方策とする。 〕

③ 特記事項

〔 教育効果は、常に単年度の評価ではなく、美術学校教育の特性から10年後の活躍を成果として目標にしている。 〕

(9). 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 (3) 2 1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 (3) 2 1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4 (3) 2 1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	(4) 3 2 1

① 課題

〔 今後の入学生の減少に備えた、財務体系の計画を構築する。 〕

② 今後の改善方策

〔 年度毎の収支計画表を作成する。 〕

③ 特記事項

〔 特に無し。 〕

(10). 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
・自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 課題

〔 学校内においては、自己点検は行っているが、外部関係者による点検を推進することが課題。 〕

② 今後の改善方策

〔 学校関係者評価委員会の充実を図る。 〕

③ 特記事項

〔 学生・生徒の安全対策のため、施設の安全点検を定期的に行う。 〕

(11). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

① 課題
 [様々な角度からボランティア活動の社会をとらえて、学生の支援を計画したい。
 又、地域において、無料の講習会を行う。]

② 今後の改善方策
 [地域の要望を適格にとらえて、公開講座開講を多く取り入れ、改善方策とする。]

③ 特記事項
 [特に無し。]

(12). 国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	④ 3 2 1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	④ 3 2 1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	④ 3 2 1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 ③ 2 1

① 課題
 [卒業後の海外での活躍の把握を確認すること。留学生の在籍数を向上すること。]

② 今後の改善方策
 [卒業生の帰国後の連絡を密にして、支援する方策を計画する。]

③ 特記事項
 [現在、13国 60名が留学生として在籍しているが、コロナが収束した中、従来の70名程度の在籍数に戻していきたい。留学生数を維持し、国内学生との交流が互いに刺激し合うことに期待したい。
 また、留学生の割合を増やすことが、教員にどのような影響があるかを検討する。]

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

(1). 教育評価

本校は、美術デザインの造形教育アカデミーとして、70年以上の歴史と伝統を培ってきた。そして、数多くの優れた人材を輩出してきた。美術・デザインの専門知識を保有する教育機関として比類ないものと自負している。本校では、毎年カリキュラムの研究を重ね、インターナショナルな視点から美術・デザインの教育を行い、国際感覚を培い、本年に於いても同様に行い、教育内容等は一定の成果を上げる事ができた。今後更に、今以上の成果を上げるためにカリキュラムの研究を重ね、教育内容の充実を計っている。更に組織的かつ継続的な体制で取り組み、結果を積極的に情報開示する事が肝要である。国内でも、数すくない保存修復科を有し、角界から、講師を招き質の高い教育をしている。

本校では、「歴史と伝統」を再点検・再評価しつつ、社会に対しては、教育機関として自覚し、うちに対しては学習者の立場や利益等を最優先に考慮し、産業界の意見を大いに参考にして職業教育の重要性を考えていかなければならない。

(2). 財務評価

令和7年度の学生募集に於いて、18歳人口の減少による影響を受け、入学生及び在学生在が減少した。一昨年の物価高による授業料アップ実施により、法人の財務状況への影響はカバー出来た。また開校80周年を迎えるにあたり大幅な校舎のリノベーション工事を実施し、その資金は銀行から新規借り入れで運用した。総体的な学生数は減少したものの、繰越資金等を活用し、学校運営上支障なく運営出来た。

(3). 一般的評価

本年度は、インターシップなど各企業との連携を図り、学校・学生・企業との職業教育の理解が深められた。また、イラストレーターなどによるセミナーなど多数行い、学生が学校外での、さまざまな体験が出来た。これからは、内外の交流を活性化し、異業種業界からも講師を招き、本校生徒の活発な交流を促すよう働きかける。

その他としては、次年度開校80周年を迎えるにあたり、芸術祭期間に大規模なホームカミングデーを実施し、卒業生とのつながりをより強固にする。また、コロナ禍によりノウハウを得たりリモート面談をキャリア支援部・教育部全般において、有効活用している。また、本校単独開催である東京都美術館開催の卒業制作展も無事に終了することが出来た。

5. 学校関係者評価委員の評価結果について

上記報告書は、学校関係者評価委員として、
妥当な評価であることを確認し、認めます。

2026年5月26日

学校関係者評価委員 鹿島山北高等学校 校長 石塚 孝男

学校関係者評価委員 K CRAFTWORK JAPAN 金川 恵治

学校関係者評価委員 税理士法人 長坂会計事務所 中村 真太郎

学校関係者評価委員 ソニー生命保険株式会社 新宿ライフプランナーセンター
第8支社 第4営業所 営業所長 関口 航

貸借対照表

2026年 3月31日現在

単位千円

資産の部		負債の部	
固定資産	4,312,228	固定負債	1,237,415
		流動負債	399,583
		負債の部合計	1,636,999
流動資産	1,036,858	基本金の部	
		第1号基本金	3,200,000
		基本金の部合計	3,200,000
		消費収支差額の部	
		翌年度繰越消費収入超過額	512,087
		消費収支差額の部合計	512,087
資産の合計	5,349,086	負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部合計	5,349,086

資金収支計算書

2025年 4月 1日から
2026年 3月31日まで

単位千円

収入の部		支出の部	
学生生徒等納付金収入	745,614	人件費支出	427,871
手数料収入	2,048	教育研究経費支出	154,955
補助金収入	90,397	管理経費支出	222,930
資産売却収入	0	借入金等利息支出	22,023
受取利息・配当金収入	17,865	借入金等返済支出	100,000
雑収入	4,281	施設関係支出	136,400
前受金収入	225,340	設備関係支出	7,156
その他の収入	207,453	その他の支出	186,170
資金収入調整勘定	-255,295	資金支出調整勘定	-84,350
前年度繰越支払資金	997,264	次年度繰越支払資金	861,812
収入の部合計	2,034,971	支出の部合計	2,034,971

事業活動収支計算書

2025年 4月 1日から
2026年 3月31日まで

単位千円

教育活動収支			
事業活動収入の部		事業活動支出の部	
学生生徒等納付金	745,614	人件費	585,287
手数料	2,048	教育研究経費	189,846
経常費等補助金	90,397	管理経費	232,585
雑収入	172,005	徴収不能引当金繰入額	91
事業活動収入の部計	1,010,065	事業活動支出の部計	1,007,810
		教育活動収支差額	2,255
教育活動外収支			
教育活動外収入		教育活動外支出	
事業活動収入の部		事業活動支出の部	
受取利息・配当金	17,865	借入金等利息	22,023
教育活動外収入計	17,865	教育活動外支出計	22,023
		教育活動外収支差額	-4,157
		経常収支差額	-1,902
特別収入		特別支出	
事業活動収入の部		事業活動支出の部	
資産売却差額	0	資産処分差額	2,000
特別収入計	0	特別支出計	2,000
		特別収支差額	-2,000
		基本金組入前当年度収支差額	-3,902
		基本金組入額合計	0
		当年度収支差額	-3,902
		前年度繰越収支差額	515,990
		翌年度繰越収支差額	512,087

■2025年度 校舎設備点検等 実施状況一覧表

項 目	担当企業名等	2025年						2026年					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
電気設備点検	日本テクノ株式会社												
* 隔月点検	http://www.n-techno.co.jp/	4/11		6/5				10/3		12/10		2/2	
* 年次点検						8/4							
消防設備点検	菊村防災設備株式会社												
* 消防設備点検					7/21						1/12		
建築点検	田中ビルサービス株式会社												
* 建築設備検査	http://www.tanaka-bs.co.jp/												工事の為4/1 に実施→
衛生管理	陽光ビルME株式会社												
* 給水装置点検	http://www.yoko-bl.co.jp/												工事の為7月 に延期
* 受水槽・排水管洗浄													工事の為7月 に延期
* 排水槽清掃													工事の為7月 に延期
* 水質検査						8/28						2/25	
* 害虫防除			5/28						11/12				
* 校舎 定期清掃		4/16	5/21	6/18	7/16		9/17	10/15	11/19		1/21	2/18	
* 校舎 特別清掃						8/5 ～9				12/22 ～26			3/23 ～27
その他													
* 消防訓練	牛込消防署				日程不都合 のため中止								
* 大掃除(教職員・生徒)	—————				7/23 ～29					各科の判断 で実施			各科の判断 で実施

■ 留学生 国籍別一覧表

2026年5月1日 現在

中国	台湾	韓国	香港	ベトナム	マレーシア	インド	フランス	オーストラリア	ブラジル	アルゼンチン	アメリカ	ベラルーシ			(合計)
20人	12人	10人	4人	3人	3人	2人	1人	1人	1人	1人	1人	1人			60人
(うち、国費留学生人数)															
				1人	1人	2人			1人	1人		1人			7人